

小学校

s5-17

5学年

比 例

【ねらい】

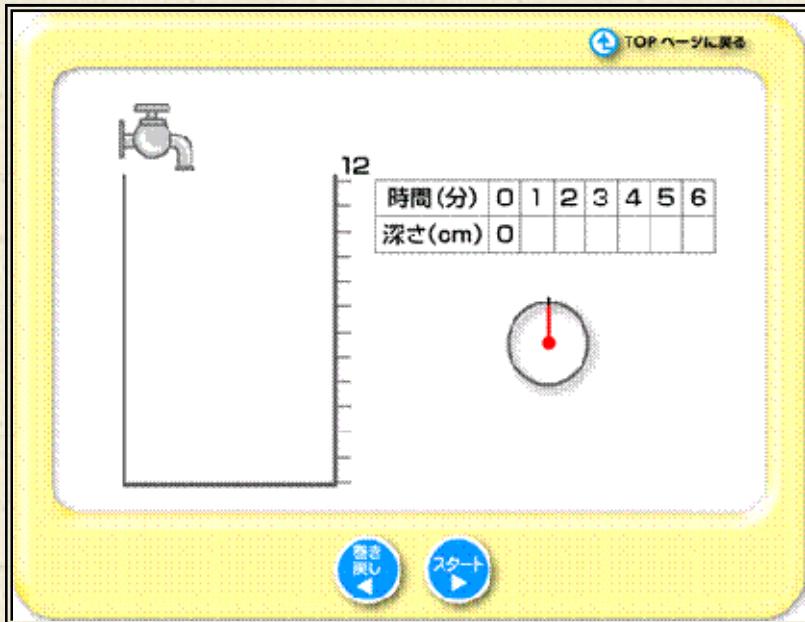
表を用いて、伴って変わる2つの数量の関係について理解する。

【特徴】

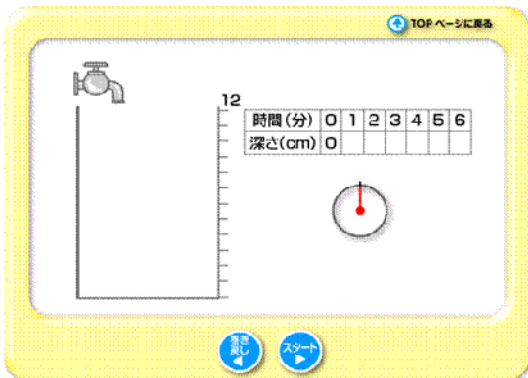
- ◇ 水道で1分間に2cmの高さまで水が入る水槽の時間と高さの変化の様子が、具体の事象と表の数値を連動させながら表すことができます。
- ◇ 1時停止機能や巻き戻し機能がついているので、途中で止めて考えさせることができます。

【関連する単元】

- ◇ 小学6年「比例・反比例」



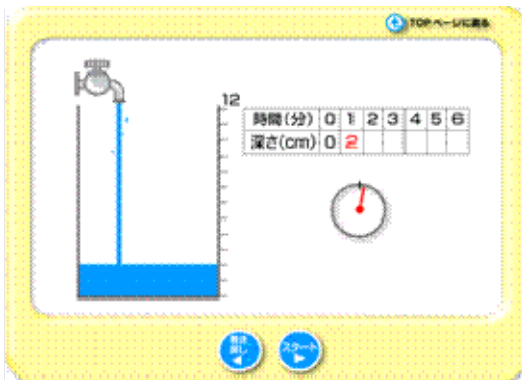
【活用場面】 導入段階の課題提示、算数的活動の後の検証、知識・技能の定着



課題として提示し、起こる事象をイメージしながら変化の様子を表に整理させることに有効です

まだ、蛇口の開いていない状況を見せ、起こる事象のイメージ化を図ります。

- ◇ 児童には課題を問題文で提示します。
- ◇ 表を印刷して配り、予想される変化の見通しを立てさせます。



- ◇ 1分経過した時点で1時停止します。
- ◇ 表の1分で2cmは、具体的事象のどこにあたるのか対応させます。
- ◇ その後の変化を予想させ表に整理させます。



表から、比例の関係にある2数量の変化を捉えさせるのに有効です

一方の数量が2倍、3倍されれば、もう一方の数量も2倍、3倍される関係を整理した表から捉えさせます。

- ◇ 整理した表を見て、時間と深さの変わり方で似ているところを見つけさせます。
- ◇ 「変わり方」なので、「○が●になったら、△は▲になっている」という表現で説明させるようにします。
- ◇ 一方の数量が2倍、3倍されれば、もう一方の数量も2倍、3倍になっている関係を「比例」ということをおさえます。